

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	1 生活支援の理念と尊厳の理解					
	(1) 尊厳を支えるための専門職としての意識を持った行動がとれる。 (2) 利用者一人ひとりがその人らしい生活が継続できるよう、尊厳を支える介護を提供することができる。 (3) 利用者の生活意欲を引き出し、自立支援や介護予防の視点で介護を提供することができる。 (4) 学習した生活支援を目標に、創意工夫のある取り組みを行うことができる。 (5) 市民としての権利と義務をもち、社会生活を送る主体として利用者をとらえ、適切に対応、支援することができる。					
項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間	
					講義	実技
(1) 人間理解と尊厳	<ul style="list-style-type: none"> 人間理解の視点、豊かな人間観、多様な価値観 ・ 老い ・ 死生観 ・ 尊厳 ・ 性 	和氣 一栄	6月2日	13:00～17:00	4	
(2) 生活の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の定義 ・ 生活支援の考え方 	和氣 一栄	6月11日	13:00～17:00	4	
(3) 福祉の支援の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの福祉の考え方の流れ ・ ノーマライゼーション ・ QOL ・ 家族介護から社会介護へ ・ エンパワメント、共生 	和氣 一栄	6月25日	13:00～17:00	4	
(4) 介護の基本的な視点と意義	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尊厳を支えるケア ・ 介護の定義 ・ 介護職員の専門性 ・ 健康かつ主体的、能動的な生活に向けた支援(自立支援、尊厳の保持、自立支援のために保障すべきケアの水準) ・ ICFの視点に基づく援助 ・ 介護の専門性とチームケア 	和氣 一栄	7月2日	13:00～17:00	4	
(5) 地域生活支援と保健医療・福祉サービス及びインフォーマルな動等とのトータルなネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての人を対象とする地域生活支援 ・ 地域アセスメント ・ 資源調整と啓発 ・ フォーマルサービスやインフォーマル活動等のトータルなネットワークの重要性 	和氣 一栄	7月7日	13:00～17:00	4	
			7月16日	"	4	
(6) 利用者の権利と尊厳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の権利擁護、アドボカシー ・ 虐待の防止 ・ 身体拘束の禁止 	和氣 一栄	8月4日	13:00～16:00	3	
			8月18日	"	3	
小計					30	0
合計					30	
使用する機器・備品等						
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第1巻((財)長寿社会開発センター)					
備考						

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	2 老人、障害者等が活用する制度及びサービスの理解					
	(1) サービスの種類、相談窓口、サービス利用の流れが分かり、利用者に正確に情報提供、助言等が行える。 (2) 法・制度の理解とサービスシステムの一翼を担う視点をもって業務が行える。 (3) 利用者の生活を支える適正なサービス利用のあり方について、制度の理念や趣旨に沿って考えることができ、利用者や家族の理解を得ることができる。					
項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間	
					講義	実技
(1) 高齢者保健福祉制度と施策	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者保健福祉の背景と動向 介護保険制度の概要 その他高齢者保健福祉制度 	板野 宏一	6月3日 6月12日	13:00～16:00 "	3 3	
(2) 障害者福祉制度と施策	<ul style="list-style-type: none"> 障害者福祉の背景と動向 障害者保健福祉制度の概要 	上田 由美子	8月7日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3	
(3) その他制度・施策	<ul style="list-style-type: none"> 医療制度 年金制度 住宅と居住施策 児童福祉 生活保護 地域福祉施策 成年後見、権利擁護、虐待防止などの制度・施策 	片山 健	7月22日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3	
(4) 社会保障制度改革の背景	<ul style="list-style-type: none"> 人口の動向 負担と受給のバランス、世代間公平 	板野 宏一	6月24日 7月3日	13:00～16:00 "	3 3	
(5) 介護サービスの現状動向、利用支援等	<ul style="list-style-type: none"> 各サービスの種類、内容、その役割 ケアマネジメントのしくみ、機関とその役割 業務内容、運営基準、契約等の理解 小規模・個別ケア、ユニットケア 介護予防と地域包括支援センター 日常生活圏域と小規模多機能サービス 第三者評価、介護サービス情報の公開 苦情の受け付け 利用者からみたサービス利用の流れと利用支援等の留意点 	上田 由美子	8月5日	9:00～12:00	3	
(6) 自分の住む街の制度サービス	<ul style="list-style-type: none"> サービス事業所 サービス提供体制 保険料とサービス水準 都道府県、市区町村独自の施策・制度 	片山 健	8月5日	13:00～16:00	3	
			小計		30	0
			合計		30	
使用する機器・備品等						
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第2巻((財)長寿社会開発センター)					
備考						

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	3 老人、障害者等の疾病、障害等に関する理解						
	(1) 介護職員として、各介護項目における医療的側面のアセスメントができる。(疾病と症状、障害、感染症の内容を含むこと) 例： 移乗介護を行う際のアセスメント項目 入浴介助のアセスメント項目 (2) アセスメントの結果に基づいて、ケアプラン・サービス計画を確認でき、個別の介護方法に展開できる。 (3) 異変に気付き対応できる(早期に発見できる)。 ・「いつもと違う」状況を発見するための、日々の観察と「いつもの状況」を知る。 例： 移乗介護を行う際のアセスメント項目 ・日々の観察と「いつもの状況」を把握し、いつもと違う状況を発見できる。さらに、異変の状態のアセスメントを行い、適切な判断及び応急対応、連絡ができる。 (4) 感染予防に配慮した介護が展開できる。(うがい、手洗いのタイミング、方法)						
項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間		
					講義	実技	
(1) 加齢と生理	・加齢の生理学 ・高齢者の栄養と睡眠	進藤 亨	6月4日 6月18日	14:00～17:00 "	3 3		
(2) 高齢者に多い疾病の医学的理解	・三大死因の疾病 ・循環器系疾病 ・皮膚科疾患 ・呼吸器疾患 ・精神疾患 ・介護保険での特定疾病	・高血圧と糖尿病 ・眼科疾患 ・泌尿器系疾患 ・筋骨格系疾患 ・神経系疾患	進藤 亨	7月9日 7月23日 8月6日	14:00～17:00 " "	3 3 3	
(3) 感染症の理解と予防	・感染症の種類と特徴 ・高齢者に起こりやすい感染症(インフルエンザ、ノロウイルス、肺炎、結核、MRSA、レジオネラ菌、トキソプラズマ症、カンジタ症、疥癬、白癬、等) ・予防と留意点(加熱、日光、アルコール、逆性石鹼、塩素等による消毒・滅菌、十分な手洗い・うがい、室内換気、清掃等による衛生面への気配り、抵抗力の増強等) ・感染症の媒介とならないための介護上の留意点	中嶋 弥生	7月17日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3		
(4) 疾病、障害と生活支援	・障害の概念 ・知的障害、ダウン症、自閉症、学習障害等 ・身体障害(脳性麻痺、脊髄損傷と肢体不自由等) ・精神障害(統合失調症、気分障害、人格障害及び神経症等) ・視覚障害、言語、聴覚障害 ・内部障害(心機能障害、腎機能障害等)	横山 万喜子	6月29日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3		
(5) 訴えと症状の理解	・健康チェックとバイタルサイン ・呼吸器症状と感染症等の疾病 ・消化器症状と食中毒等の疾病 ・その他の訴え・症状と疾病(痛み、めまい、食欲不振、しびれ、口腔内違和感、浮腫、腫脹、脱力感等)	横山 万喜子	6月11日	9:00～12:00	3		
小計					30	0	
合計					30		

使用する機器・ 備品等	
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第3巻((財)長寿社会開発センター)
備考	

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	4 認知症の理解				
	(1) 認知症の利用者がもつ生活機能を積極的に見い出してその機能が発揮できるよう支援し、利用者の尊厳を保持する。 (2) 認知症の医学的背景を理解した上で、介護の専門職として、認知症の利用者の行動、生活状況を的確に把握することができる。 (3) 認知症の障害や特徴をふまえ、認知症の利用者が構築している認知的世界を理解し、安定した状態で過ごせるように介護を提供できる。 (4) 認知症の障害や行動をふまえ、常に心身の状態の観察や行動を見守り、適切に対応することができる。 (5) 認知症の利用者に対して生活上の不適切な制限を行わないよう、対応・配慮ができる。 (6) 認知症利用者の家族の負担を理解し、適切に対応できる。				
項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間 講義 実技
(1) 認知症の医学的背景の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢相応の物忘れと疾患としての認知症の区別等 ・認知症の問題となる基本障害と行動 ・認知症を引き起こす原因疾病(脳血管性認知症、アルツハイマー病、ピック病、ヤコブ病など)、発生誘因 ・認知症とまちがえられやすい症状 ・若年性認知症 	深井 浩介	7月6日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3
(2) 認知症の心理・行動の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の心理・行動モデル ・症状と障害の考え方 ・問題とみなされがちな行動のとらえ方と対応 	高塚 延子	6月9日 6月16日	13:00～17:00 "	4 4
(3) 認知症の利用者への支援・介護の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の原則と観察(寄り添うケア、身体面、精神面、社会関係、服薬状況などを含む観察) ・健康管理、廃用性症候群予防 ・生活環境 社会活動 ・コミュニケーション(言語的・非言語的コミュニケーション等) ・音楽療法、回想法、動作法、バリデーション、レクリエーション、アクティビティ等 ・問題とみなされがちな行動と介護職員としてのとらえ方(せん妄、妄想、作話、帰宅願望、徘徊、昼夜逆転、不潔行為、興奮、大声・奇声、異食、自傷、他害、収集癖、性的問題行動、等) 	高塚 延子	6月30日 7月14日	13:00～17:00 "	4 4
(4) 認知症介護における医療・保健・福祉、関係機関、地域資源との連携、および自立支援のための地域による支え合い		高塚 延子	7月28日	13:00～17:00	4
(5) 家族へのケア	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の心理の共感的な理解 ・専門家としての関わり、対応の方法(疾病の理解、サービスの活用、家族のストレスケア、助言) 	高塚 延子	8月11日	13:00～17:00	4
		小計			30 0
		合計			30
使用する機器・備品等					

使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第4巻((財)長寿社会開発センター)
備考	

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	5 介護におけるコミュニケーションと介護技術(90H)					
	(1) 利用者の心身の状態やありのままの生活を理解し、介護過程に沿って尊厳を支える介護を展開できる。 ・ 基本的な介護技術について、理論を踏まえた上で、それを応用して、自立支援の視点で介護を展開できる。 ・ 心身機能の低下に沿った介護方法の事例や理論を踏まえた上で、それを応用して、自立支援の視点で介護を展開できる。 ・ 介護予防の考え方と方法を理解し、利用者の状況に応じて実践できる。 ・ 適切なコミュニケーションに基づく利用者との協働によって、介護を展開できる。 (2) 福祉用具、住宅改修等についての知識を持ち、利用者の生活を支えるという視点から、チームの中で助言や提案ができる。					
項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間	
					講義	実技
(1) 介護の考え方・視点	・ 介護過程の理解 ・ ICFの考え方の理解	埋橋 信行	5月29日 6月12日	9:00～12:00 "	3 3	
(2) 介護におけるコミュニケーションと信頼関係形成	・ 他者理解と共感、受容 ・ 傾聴的態度 ・ 自己覚知、気づき ・ 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション ・ 言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション ・ アセスメントにつながるコミュニケーションのとり方 ・ 専門職としての効果的なアドバイス	埋橋 信行	6月24日 7月3日	9:00～12:00 "	3 3	
(3) 高齢者、障害者(児)の理解と心のケア	・ 高齢者、障害者(児)の心理の理解 ・ 高齢者、障害者(児)の人間関係 ・ 日常生活における心的安定と活性化の視点と技術 ・ 「寄り添う」ことの意義と実際 ・ 感情表現できるような働きかけ ・ 利用者のペースや居場所の尊重など自立支援への配慮 ・ 治療的かわりの可能性 ・ 障害の受容の理解 ・ ターミナル・死の受容の理解	片山 健	7月10日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3	
(4) 基本的な介護技術の習得	・ 歩行 ・ 移乗 ・ 睡眠、夜間のケア ・ 口腔ケア ・ 入浴 ・ 整容 ・ 移動 ・ 外出 ・ 食事 ・ 排泄 ・ 衣服の着脱 ・ 清潔(褥瘡の防止を含む)	沖中 純子 福原 裕子 中川 明美 齊藤 七七重 小川 晶江 安達 悦子 酒井 ゆう子 平川 名都江 松永 美輝恵 山本 まき恵 松島 智枝美	8月27日 }	9:00～12:00 13:00～16:00		60
(5) 介護予防の考え方と方法	・ 生活の中の介護予防(心理的安定と活性化、身体機能の維持・向上等) ・ 介護予防プログラム(閉じこもり予防、筋力向上、栄養改善、口腔ケア等)の基礎	埋橋 信行	7月14日 7月24日	9:00～12:00 "	3 3	

(6) 福祉用具の活用と住宅改修による自立支援	・生活環境の捉え方 ・在宅の生活と福祉用具・住宅改修の意義 ・福祉用具、住宅改修の基礎	埋橋 信行	8月 4日 8月18日	9:00 ~ 12:00 "	3 3		
		小計				30	60
		合計				90	
使用する機器・備品等							
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第5巻((財)長寿社会開発センター)						
備考							

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	6 生活支援と家事援助技術						
	項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間	
行動目標	<p>(1) 利用者の心身の状態や、ありのままの生活を理解し、自立支援や介護予防の観点から、介護過程に沿って家事援助を展開できる。 基本的な家事援助技術(調理、掃除、洗濯、室内環境の整備等)についての知識・技術を有し、それを応用して、自立支援の視点で家事援助を展開できる。 予防的な家事援助を展開できる。</p> <p>(2) 当たり前の生活、なじみの関係、その人らしい生活を継続していくために、どのような支援が必要なのかを考え、家事援助が展開できる。</p>						
						講義	実技
(1) 生活の理解	・現代生活の枠組み ・生活形成プロセス ・生活経営 ・家事労働	河原 二三子	5月28日	13:00～16:00	3		
(2) 「生活支援」の枠組み の中における家事援助(技術)の意義・役割		河原 二三子	6月8日	9:00～12:00	3		
(3) 高齢者、障害者(児)に対する家事援助の機能と基本原則	・意欲を引き出す働きかけ ・なじみの関係、なじみの家具調度・食器 ・利用者に合わせた生活 ・家事援助と介護予防、自立支援 ・信頼関係の構築 ・生活習慣の理解、多様な価値観の受容 ・ニーズとディマンス ・秘密保持 ・ノーマライゼーションの視点 ・介護保険制度に規定される訪問介護の範囲 ・社会資源、代替サービスの有効利用等	河原 二三子	6月22日	9:00～12:00	3		
(4) 食生活の支援	・高齢者、障害者(児)と栄養ケアマネジメント、食生活のあり方(必要な栄養素とその働き、栄養所要量、栄養の偏りや過不足がもたらす生活習慣病やADLの低下等) ・調理方法の基本的な考え方と調理技術(基本的な調理方法、調理器具の使い方、調理上の工夫、材料や料理の保存方法等) ・生活習慣病等に必要なお食事の知識・特別食 ・食品衛生の基礎理解、食品衛生に関連した法規	浮田 通子	7月22日	9:00～12:00	3		
			7月30日	13:00～16:00	3		
		7月30日	9:00～12:00	3			
(5) 被服生活の支援	・高齢者、障害者(児)と被服の役割と機能 ・被服の管理、洗濯、清潔 ・取り扱い表示の種類と意味、繊維の種類とおもな長所・短所	河原 二三子	6月30日 7月16日	9:00～12:00 "	3 3		
(6) 住生活の支援	・高齢者、障害者(児)と住居の役割と機能(生活行動と生活空間) ・快適な環境の維持と安全管理(音、光、換気、空調、清潔、防災等) ・室内整備と掃除、清潔な環境	河原 二三子	7月24日	13:00～16:00	3		
			8月25日	9:00～12:00	3		

	・混乱や失敗を招かない環境作り ・場所間違い等の防止 ・住居の中での事故と対応				
		小計	30	0	
		合計	30		
使用する機器・ 備品等					
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第6巻((財)長寿社会開発センター)				
備考					

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	7 医療及び看護を提供する者との連携					
行動目標	(1) 介護職員としての役割とその範囲を十分に踏まえた上で、医療・看護との連携の必要性を理解し、医療ニーズを持つ利用者に対して、チームの一員として適切な連携をとりながら介護を展開できる。 (2) 医療ニーズを持つ利用者に対して、介護を行う上での留意事項や報告事項を理解し、適切な観察、および報告、記録ができる。 (3) 非医行為の範囲について理解し、現場で適切な緊急時対応および応急処置を実践できる。 (4) ターミナルケアについて、本人・家族への説明と理解を得るなど、チームの一員として対応することができる。					
項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間	
					講義	実技
(1) 医療・看護との連携の基礎的理解	・医療・看護との連携の必要性の理解と方法 ・非医療行為の範囲と対応の基礎	多田 由美子	6月10日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3	
(2) 訪問看護の基礎的な理解	・訪問看護制度 ・訪問看護の援助内容 ・在宅医療・在宅看護の進展	秋山 安子	7月13日	9:00～12:00	3	
(3) 医療機器、医療用具薬の基礎的理解	・胃瘻、腸瘻、鼻腔栄養、中心静脈栄養、点滴 ・吸入、吸引 ・人工呼吸器、在宅酸素 ・浣腸、排便 ・人工肛門、人工膀胱 ・薬(種類と服用方法、副作用とリスク、多剤併用での相互作用)	小林 美香	7月27日	9:00～12:00	3	
(4) 褥そう予防に関する基礎的な理解	・要求と発生機序 ・介護職が行う褥そう予防・悪化の防止 ・医療職が行う褥そうの治療・処置	西岡 由美	6月17日	9:00～12:00	3	
(5) リハビリテーション医療の基礎的理解	・リハビリテーションの理念、基礎 ・リハビリテーション医療の過程(急性期、回復期、維持期)とリハビリテーションマネジメント、脳卒中モデル、廃用性症候群モデル ・リハビリテーションチーム職種との連携	森安 真	7月23日	10:00～13:00	3	
			8月6日	"	3	
(6) 緊急時の対応方法	・緊急時における連絡・連携と介護職員の役割	片岡 しなよ	8月20日	13:00～16:00	3	
(7) ターミナルケアの対応	・ターミナルケアの条件と介護職員の役割	佐山 純子	8月19日	9:00～12:00	3	
				13:00～16:00	3	
小計					30	0
合計					30	
使用する機器・備品等						
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第7巻((財)長寿社会開発センター)					
備考						

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	8 介護における社会福祉援助技術						
	(1) 利用者・家族のニーズや心情をくみ取り、その主体性を引き出すことができる。 (2) チームの一員として、社会資源との連携・活用をしつつ、利用者・家族に対して働きかけや関わりを持つことができる。 (3) 利用者・家族のニーズを把握し、社会資源に適切につなげるために、チームの中で提案をすることができる。						
行動目標	項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間	
						講義	実技
	(1) 介護におけるソーシャルワークの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> 介護におけるソーシャルワークの必要性 ソーシャルワークの目的と内容 ソーシャルワークの展開(ケースワーク、グループワーク、コミュニティーワーク) 	高橋 和巳	6月5日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3	
	(2) 介護における相談援助技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> 相談援助とバイスティックの7原則 高齢者、障害者(児)の家族支援 高齢者、障害者(児)の家族の心理の理解 	高橋 和巳	6月19日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3	
	(3) 地域に根ざした包括的なケアの必要性	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活を支える総合的な在宅ケアシステム(24時間・365日の地域生活の支援、利用者・家族のニーズと地域密着型サービス等各種サービス機関の連携) 各種社会資源・インフォーマルサービスの活用開発(市民活動・NPO、生協、農協等) 事業者間連携 施設から在宅へのサービス展開 	高橋 和巳	7月8日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3	
	(4) 地域生活支援の実際	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の生活空間を地域に広げる視点 利用者のインフォーマルなつながりの重要性 近隣への依頼・連携の方法 地域環境を活かしたケアの実際(地域との交流、外出プログラム等) 地域資源とのネットワークづくり 	高橋 和巳	7月21日	9:00～12:00	3	
	(5) 困難事例に対する援助活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> サービス拒否、多問題ケース、家族とのトラブル 不適正事例 	高橋 和巳	8月17日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3	
	(6) 虐待防止、消費者被害、権利擁護への対応	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスを通じての問題発見 問題が疑われる場合の対応 相談機関等との連携 エンパワメント、アドボケイト 	高橋 和巳	7月21日	13:00～16:00	3	
				小計		30	0
				合計		30	
使用する機器・備品等							
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第8巻((財)長寿社会開発センター)						
備考							

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	9 生活支援のためのアセスメントと計画					
行動目標	(1)アセスメント、ケアプラン作成、各サービス計画の関係や流れを理解し、生活全体を支援するという観点から、どのような援助が必要かを考えることができる。 (2)適切なアセスメント、モニタリング、カンファレンスを行うために、基本的な観察、記録、情報伝達を行うことができる。					
項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間	
					講義	実技
(1)生活プラン考え方	・生活全体のアセスメント ・生活全体のプランニング支援 ・生活プランとケアプラン	堀部 徹	6月3日 6月9日	9:00～12:00 "	3 3	
(2)ケアプランとサービス計画の内容・機能	・施設ケアプランと居宅ケアプランの内容 ・居宅・施設サービス計画・各サービス計画(訪問介護計画、通所介護計画等)とサービスの関係	堀部 徹	6月17日 6月23日	13:00～16:00 9:00～12:00	3 3	
(3)ケアプランとサービス計画の作成手順	・アセスメントとニーズの把握 ・居宅ケアプランの作成 ・ICFに基づくアセスメントや実践への展開 ・各サービス計画(訪問介護計画、通所介護計画等)の作成	堀部 徹	6月23日 7月7日	13:00～16:00 9:00～12:00	3 3	
(4)ケアプラン・サービス計画とサービス提供の実際	・ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録 ・介護職員のアセスメントと連携、ケアプラン・サービス計画の見直し	堀部 徹	7月28日 8月3日	9:00～12:00 "	3 3	
(5)地域生活支援のための地域環境のアセスメント技術と留意点	・利用者の希望を把握・推測するための視点・方法 ・利用者のインフォーマルなつながりの把握の視点・方法 ・外出支援のプログラム等における安全への配慮の視点・方法 ・地域生活支援の際の利用者・家族への説明・同意・契約	堀部 徹	8月3日 8月20日	13:00～16:00 9:00～12:00	3 3	
小計					30	0
合計					30	
使用する機器・備品等						
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第9巻((財)長寿社会開発センター)					
備考						

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	10 介護職員の倫理と職務					
行動目標	(1) 介護職員の倫理や職務、基本的マナー等について理解し、専門的な職業人としての自覚を持って行動できる。 (2) 尊厳が損なわれた状態(虐待やそれに類する行為)を発見する視点を持ち、改善に向けた行動ができる。 (3) 介護職員の職務の特性を理解した上で、心身の自己管理を適切に行い、意欲を持って職務に取り組むことができる。 (4) 記録の機能と重要性を理解し、適切な記録を書くことができる。 (5) 打合せ、引き継ぎ、会議の設定、進行ができ、適切な発言等ができる。 (6) 同職種間、異職種間のチームワークを適切にとることができる。 (7) 積極的に研修等を受講し、自己研鑽に努めることができる。					
項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間	
					講義	実技
(1) 介護職員の職業倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理と尊厳の理解 ・利用者本位、自立支援、利用者の代弁 ・守秘義務 ・専門的、総合的なサービスの提供と積極的連携 ・虐待等の発見と人権の擁護 ・個人情報の保護と活用、情報開示 ・所属機関と専門職としての倫理 ・地域社会の推進 ・後継者の育成 	清久 記子	5月29日 6月4日	13:00～16:00 10:00～13:00	3 3	
(2) 生命倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・生命と倫理 ・ターミナルにおける倫理(死の考え方、尊厳死と倫理) ・医療の進歩と倫理 ・医療・看護の倫理、パターナリズム 	清久 記子	6月8日	13:00～16:00	3	
(3) 基本的マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、礼儀 ・依頼、助言、配慮ある断り方 ・利用者から金品を渡された場合の対応等 	清久 記子	6月18日	10:00～13:00	3	
(4) 介護職員の職場の仕組みと職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護業務の共通性と事業別の特性 ・ケアマネージャー、サービス提供責任者等の役割とサービス実施のプロセス(要介護認定、サービス担当者会議、サービス計画、目標にそったサービスの実施、モニタリング) ・事業の特性に応じた業務の流れ(訪問介護、施設介護、グループホーム、通所介護等) ・同職種内のチームワークと他職種との連携 	清久 記子	6月22日	13:00～16:00	3	
(5) サービス提供時の契約と留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者との契約 ・文書による確認 ・物品の保管 ・金銭管理 ・事故における事業者・労働者の責任 	清久 記子	7月2日	9:00～12:00	3	
(6) 報告、会議、記録	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ、引き継ぎ、会議の持ち方、進め方と発言の仕方 ・記録の役割と書き方、活用法 	清久 記子	7月9日	10:00～13:00	3	

(7)介護事故等の予防と対策への組織的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフティマネジメント ・ヒヤリ・ハットの事例の活用 ・感染症の予防と対策 ・身体拘束の禁止 	清久 記子	7月29日	9:00～12:00 13:00～16:00	3 3		
		(8)よいキャリアのための自己研鑽、心身の健康管理等	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての自覚と質の向上(OJT、Off-JT、自己啓発、資格取得) ・健康管理、ストレスマネジメント ・介護職員の労働の権利と制度 	清久 記子	8月11日	9:00～12:00	3
					小計	30	0
					合計	30	
使用する機器・備品等							
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第10巻((財)長寿社会開発センター)						
備考							

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	11 事前演習					
経験目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の目的・経験目標について説明を受け、自らの問題意識を整理する。 ・実習中の態度・心構え(挨拶服装などマナー/実習態度/職員との関係 報告、連絡、相談/利用者との関係 守秘義務・個人情報保護、健康管理)について説明を受ける。 ・事故防止のための注意点、基礎的な介護業務の方法・留意点について、指導をうける。 ・実習記録の方法(書き方・留意点)について、指導を受ける。 ・実習先の施設・事業所の概要や特徴、実習日程について説明を受ける。 					
指導の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を円滑に実施するため、研修事業者において、実習の目標、スケジュール、留意点等についてオリエンテーションを行い、実習の課題・問題意識を形成する。 ・演習等により、基本的な介護技術の習得の有無を確認するとともに、事故防止の留意点を理解させる。 ・実習記録の書き方を理解させる。 					
項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間	
					講義	実技
(1)オリエンテーション 実習計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・事業所の概要(目的・機能等)、説明と理解 ・実習目標の設定・計画・問題意識について ・基本的接遇・心構え(挨拶服装などマナー/実習態度/職員との関係 守秘義務・個人情報保護、健康管理) ・事故防止のための注意点 	坂之上 令子	9月18日	9:00～13:00	4	
(2)実習記録の方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録用紙、記入の仕方について 	坂之上 令子	9月18日	14:00～18:00	4	
		小計			8	0
		合計			8	
使用する機器・備品等						
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第11巻((財)長寿社会開発センター)					
備考						

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	12 事後演習					
経験目標	・実習中に記録した実習の経験内容、気づき、反省点、自己の介護観等をまとめ、目標及び計画に照らして、達成状況を確認する。					
	・実習終了後、以下の点について、自己を振り返り、お互いに発表、話し合いと検討を行う。					
	実習全般を通して率直な印象や感想、気づいたこと、学んだことについて。					
	基本的な介護技術に基づいて介護できたか、また介護の根拠について。					
	自己の介護技術において、自分としてうまくいった点、うまくいかなかった点、及びその背景や理由について					
	職員との関わりや利用者との関わりにおいて、自分としてうまくいった点、うまくいかなかった点、及びその背景や理由について					
	疑問な点や不安な点、及び今後、それらの疑問や不安に対して介護職員としてどう考えるべきか、どう対処すべきかについて。					
	現段階での、介護職員としての自己の今後のあり方(目標、課題)について。					
指導の視点	・介護過程の観点から、介護職員の職務や記録の書き方について、振り返って考察する。					
	・利用者の生活やニーズを出発点に、フォーマル・インフォーマルの社会資源の役割、及び介護職員の役割や業務について、振り返って考察する。					
	(1)個人に実習の経験・気づき、自己の介護観等をまとめさせるとともに、個々人の経験を比較・相対化し、学びの共有化、意味付けを行う。					
	(2)介護の現場における理想と現実の違いについて理解・認識を促す(例:現場で「できていないこと」を責めるのではなく、どのようにしてできるようにしていけるかを自分なりに考える機会にさせるなど)。					
	(3)実習は介護の現場を体験的に理解する場であり、その経験がすべてではないことを理解させること。					
	(4)介護行為の根拠となっている知識や基本的な介護技術を再認識させる。					
	項目	内容	担当講師	日程	時間帯	講習時間 講義 実技
	(1)報告・反省とまとめ	・実習計画、実習目標及び実習記録をもとに自己の実習を振り返り、気づいた点、反省点、介護観等について発表する ・実習レポートとしてまとめる ・グループワーク等により、実習レポートの内容について他の受講者と話し合い、検討を行う ・反省とまとめ	坂之上 令子	11月9日	9:00～12:00 13:00～16:00	3
3						
坂之上 令子			11月11日	9:00～11:00	2	
小計					8	0
合計					8	
使用する機器・備品等						
使用するテキスト	介護職員基礎研修テキスト第11巻((財)長寿社会開発センター)					
備考						

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	施設・居住型実習(10日間 / 80時間)
経験目標	<p><説明を受ける、見学、・閲覧する></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の概要や特徴、取り組み、利用者、一日のプログラム、職員体制について、説明を受ける。 各職種から、それぞれの業務内容、チームケアの取り組みや連携について説明を受ける。 申し送りの場面を見学する。 カンファレンスを見学する。 介護記録やケアプランを閲覧する。 基本的な介護技術について、介護方法や内容、利用者との接し方等を見学する。 PT、OT、ST等による機能訓練の場面を見学する。 主な医療器具や福祉用具の使用場面を見学する。 自立のための福祉用具の使用法、取り扱いについて説明を受ける。 居室の環境、バリアフリーを見学する。 環境整備の方法について説明を受ける。 ボランティアの活動状況や内容等の説明を受ける。 地域の関係機関等との連携について説明を受ける。 <p><経験する></p> <ul style="list-style-type: none"> 主な福祉用具(車イス、自助具等)を利用している利用者の介護を経験する。 できるだけ多くの利用者に自ら話かけ、コミュニケーションの機会を持つ。認知症高齢者についても、コミュニケーションの機会を持つ。 補助的業務(食事、入浴、排泄関連業務、環境整備等)を経験する。 レクリエーション、グループ活動、行事、作業療法、外出等に、利用者とともに参加する。 軽度および重度の利用者について、食事、口腔ケア、更衣、排泄、入浴、移動、移乗等の介護を、職員指導下で経験する。 一人の利用者を決めて、その人の個性、嗜好、暮らしの様子、習慣、人間関係等について観察し、その人らしさについてまとめる。 実習記録を作成する。
指導の視点	<ul style="list-style-type: none"> 介護にあたっては、利用者の個別性や人間関係を理解するための着眼点を理解できるように留意する。 また、介護目標を踏まえて、自立にむけた介護の考え方やプロセスを理解できるように指導する。
展開例	<p><初日></p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション、施設見学、職員紹介。 利用者への紹介。 <p><初日～5日></p> <ul style="list-style-type: none"> 一日の生活の流れを把握。 医療器具、福祉用具の使用法、取り扱いについて説明を受け、使用場面を見学する。 PT、OT、ST等による機能訓練の見学。 利用者とのコミュニケーション。 レクリエーション、グループ活動、行事、作業療法等に利用者とともに参加。 補助的業務(食事、入浴、排泄関連業務、環境整備等) 軽度者の食事・口腔ケア、衣類の着脱、排泄、入浴、移動、移乗等の介護を職員指導下で体験。 申し送り参加。 実習記録。 <p><6～10日></p> <p>(<初日～5日>の内容を深めるとともに、下記を加える)</p> <ul style="list-style-type: none"> カンファレンス見学。 重度者への食事・口腔ケア、衣類の着脱、排泄、移動・移乗、体位変換を職員指導下で体験。 認知症の利用者への援助。

- ・一人の利用者について、個性、嗜好、暮らしの様子、習慣、人間関係等について観察したことをまとめ、可能であれば模擬的に生活プラン、ケアプランを立案する。
- ・記録、ケアプランを閲覧する。
- ・各職種からの聞き取り、あるいは意見交換を行う。
- ・実習反省会。

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	通所・小規模多機能型実習(3日間 / 24時間)
験目標	<p><説明を受ける、見学・閲覧する></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の概要や特徴、取り組み、利用者、一日のプログラム、職員体制について説明を受ける。 各職種から、それぞれの業務内容、チームケアの取り組みや連携について説明を受ける。 居宅介護支援事業所、地域支援包括センター、医療機関等、地域の関係機関との連携について説明を受ける。 カンファレンスを見学する。 介護記録や、ケアプラン、通所介護計画、介護予防通所介護計画を閲覧する。 基本的な介護技術について、介護方法や内容、利用者との接し方等を見学する。 介護予防プログラムを見学する。 自立のための福祉用具の使用方法、取り扱いについて説明を受ける。 環境整備の方法について説明を受ける。 <p><経験する></p> <ul style="list-style-type: none"> 送迎時の介助補助、健康状態の観察、私物持参品の管理補助を経験する。 できるだけ多くの利用者に自ら話しかけ、コミュニケーションの機会を持つ。 レクリエーション、グループ活動、行事、作業療法、外出等に、利用者とともに参加する。 食事、口腔ケア、衣類の着脱、排泄、入浴、移動、移乗等の介護を、職員指導下で経験する。 実習記録を作成する。
指導の視点	<ul style="list-style-type: none"> 通所系サービスの機能・内容、及び他の居宅サービスとの連携を理解できるように留意する。 介護にあたっては、利用者の個別性や人間関係を理解するための着眼点を理解できるように留意する。 また、介護目標を踏まえて、自立に向けた介護の考え方やプロセスを理解できるよう指導する。
展開例	<p><初日></p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション。 施設見学、職員紹介、利用者紹介。 <p><初日～3日></p> <ul style="list-style-type: none"> 一日のプログラムを把握。 配膳、環境整備。 送迎時の介護、送迎車乗降介護の補助。 到着後の健康状況観察補助 私物持参品の管理補助、個別生活支援。 利用者とのコミュニケーション。 プログラム、行事への参加。 食事、口腔ケア、衣類の着脱、排泄、入浴、移動、移乗等の介護または補助を職員指導下で経験。 カンファレンス見学。 記録・通所介護計画等を閲覧する。 実習記録。 実習反省会。

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	訪問介護実習(2日間 / 16時間)
経験目標	<p><説明を受ける、見学、・閲覧する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の概要や特徴、取り組み、利用者、職員体制について、説明を受ける。 ・事業所内での業務(チームケアのシステムや業務管理のしくみ等)について、説明を受ける。 ・居宅介護支援事業所、地域支援包括センター、医療機関等、地域の関係機関との連携について説明を受ける。 ・カンファレンスを見学する。 ・訪問記録、訪問介護計画等を確認・閲覧する。 ・サービス提供責任者や担当ヘルパーに同行し、介護や利用者の生活環境に応じた家事援助の内容、工夫、利用者との接し方を見学する。 <p><経験する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族とのコミュニケーションの機会を持つ。 ・可能な範囲で、身体介護、家事援助を経験する。 ・実習記録を作成する。
指導の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護サービスの機能・内容、及び他の居宅サービス、関係機関との連携や、社会資源の活用状況等について理解できるよう留意する。 ・関係機関との連携や、社会資源の活用状況等について理解できるよう留意する。 ・利用者を取り巻く家族関係を理解し、配慮することの重要性を理解させる。 ・在宅の生活、利用者の日常生活の多様性、及び介護の工夫の現状と自立にむけた支援の考え方について理解できるよう留意する。
展開例	<p><初日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、職員紹介。 <p><初日～2日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の確認(利用者情報・訪問介護計画)。 ・利用者への紹介・コミュニケーション。 ・身体介護の実際を体験する。 ・家事援助の実際を体験する。 ・カンファレンス見学。 ・訪問記録、訪問介護計画等を確認・閲覧する。 ・実習記録。 ・実習反省会。

介護職員基礎研修シラバス

基本情報

支部名	講習名	講習時間	講習期間	実施会場
岡山	介護職員基礎研修	500	5月28日～11月11日(延べ84日間)	住友生命岡山ビル地下1階

カリキュラム内容

科目名	地域の社会資源実習(1日間 / 4時間)
経験目標	・地域の社会資源(介護保険事業以外のNPO、ボランティアグループ、当事者団体、社会福祉協議会など)を訪問し、活動の見学や、活動者に対するインタビューを行い、地域のなかでの暮らしを豊にしていこうための活動・サポートのあり方を考察する。
指導の視点	・地域全体の社会資源、サポートシステムについて、理解できるように留意する。